

令和3年10月20日

横浜市長  
山中 竹春 様

横浜市下水道事業経営研究会  
下水道施設の包括的管理委託検討部会

部会長	長岡 裕
委員	伊集 守直
委員	加藤 裕之
専門委員	池田 陽子
専門委員	鈴木 智子

金沢水再生センター前処理施設包括的管理委託における  
落札候補者の選定結果について

標記について、横浜市下水道事業経営研究会下水道施設の包括的管理委託検討部会におきまして別紙のとおり審査を行いましたので、その結果を報告いたします。

## 1 本事業の概要

環境創造局金沢水再生センター前処理施設では、現在、包括的管理委託（平成28年4月1日から令和4年3月31日）を実施しており、令和4年度から6年間の包括的管理委託の更新にあたり総合評価を行い、落札候補者を決定する。

### (1) 件名

金沢水再生センター前処理施設包括的管理委託

### (2) 履行場所

ア 福浦工場排水処理場

イ 鳥浜第一工場排水処理場

### (3) 履行期間

令和4年4月1日から令和10年3月31日まで（6年間）

ただし、次の期間を業務準備期間とする。

令和4年1月1日から令和4年3月31日まで

なお、業務準備期間の経費は落札者の負担とする。

## 2 審査方法等

### (1) 事業者選定の方法

価格だけではなくその他の条件（公共施設等の機能性、公共サービスの水準等）も加味し、総合的に勘案して落札者を決定するため、「総合評価一般競争入札方式」による事業者選定を行った。総合評価一般競争入札とは地方自治法施行令第167条の10の2に規定された契約方式である。

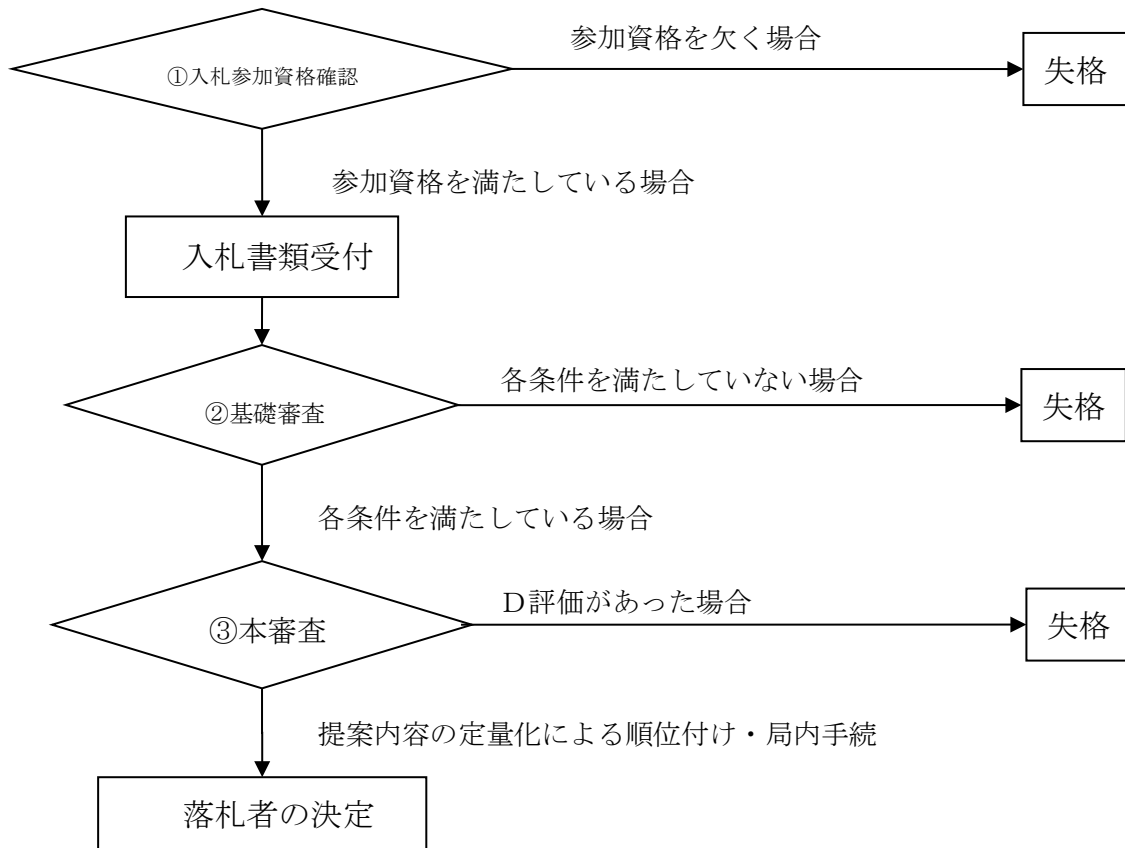
### (2) 検討部会

次期契約を履行するにふさわしい業者について総合評価による審議をするため、「横浜市下水道事業経営研究会運営要綱」第6条に基づき「下水道施設の包括的管理委託検討部会」を設置した。検討部会を構成する委員は、次のとおりである。（敬称略）

部会長	長岡 裕	東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科 教授
委員	伊集 守直	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 教授
委員	加藤 裕之	東京大学大学院工学系研究科 特任准教授
専門委員	池田 陽子	明大昭平・法律事務所 弁護士
専門委員	鈴木 智子	鈴木智子公認会計士事務所 公認会計士・税理士

(3) 落札者の決定の基本的考え方

落札者の決定の基本的な考え方は、次のとおりである。



(4) 提案評価

質に関する評価点は、アに示す評価項目ごとに、イに示す点数化方法によって評価を行い、その合計点として算出する。ここで、一項目でもD評価があった参加者は失格とする。

ア 評価項目

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
実施方針	前処理施設の特性や市における本事業の位置づけを十分に理解しているか。	①本事業に対する理解度・確実な処理	50	前処理施設の性格理解	前処理施設の特性、及び当該特性を踏まえた運転・維持管理における方針
				工場排水の処理実績に基づいた技術的総合管理能力の高さ	本事業に必要なとなる要員毎の能力についての考え方や工場排水の処理実績等本事業の管理に資する会社としての業務実績
				利用企業への配慮	本施設の運営や負担、協力への理解を得るための、利用企業に対する具体的な行動
業務実施体制	安定・継続的な運転管理を行う体制となっているか。セルフモニタリングは機能するか。	②人員配置	45	適正な人員配置	具体的な人員配置計画や、想定される様々な事象に対応できる体制・技術力、従業員の労働環境に対する配慮
				有資格者の配置状況	有資格者の配置計画とその特徴
				研修教育の実施体制	従業員の研修・教育の内容と具体的実施方法
		③マネジメント	70	鳥浜第一・福浦に対する統一的な管理、運営管理業務体制	PDCAを含む管理の体制や具体的実施方法
				会社全体のバックアップ体制、人員体制の継続性	施設の安定的な稼働を継続させるための会社全体のバックアップの考え方、従業員の安定的な確保や欠員補充への対応
				セルフモニタリングによる事業改善	事業の質を向上させるためのセルフモニタリングの実施内容
				引継ぎ時の協力体制	前受託者からの引継ぎ及び次受託者への引継ぎの両方を円滑に行うための考え方、体制等

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
運転管理 計画	運転管理方法は妥当なものか。	④ 運転計画・薬品等の使用	75	施設全体の運転、処理状況の把握と管理	施設全体の状況把握と管理を最適化するための運転管理計画の考え方
				市の整備計画との整合性	市の工事計画を踏まえた運転管理計画の作成方針
				年間を通じた安定稼働、効率運転に向けた計画	天候や季節、利用企業による変動を前提とした安定化、及び定期点検や運営管理業務を踏まえた効率化のための運転計画の考え方
				薬品、油脂類、材料等の適正な調達管理、選定基準の考え方	薬品やその他物品の調達管理の考え方、と業務品質の向上に資する調達先の選定上の工夫
				流入基質の変動を踏まえた薬品の効率的な使用方法	流入する水質の傾向や変動を踏まえた上での効率的な薬品の使用に対する考え方
		⑤水質・汚泥管理	45	水質や汚泥の適正な管理	流入水・処理水水質や汚泥に係る基準値の遵守に対する工夫
				流入量や水質変化時の対応（異常流入・流入水質異常等）	流入する水量や水質の管理方法及び異常流入や基準値超過等が発生した場合の具体的な対応方法
				有効利用や埋立基準に適合した汚泥処理	汚泥の有効利用や埋立基準の遵守を見据えた、シアン・クロムの管理や汚泥処理に対する具体的な考え方
		維持管理 計画	維持管理の体制、実施基準、方法等は、施設の管理を委ねるのに適切か。	⑥ 定期点検・軽微な修繕	100
予防保全の考え方	予防保全に関する維持管理基準の設定及びそれに伴う効果				
維持管理データの蓄積と活用	維持管理データの管理方法、及び本事業の維持管理や市側の計画策定時における提供や助言等、具体的な活用策				
軽微な修繕の実施手続き、修繕先の選定方法	軽微な修繕の具体的な実施手続き（市に対する協議や連携方策、実施内容の判断方法や突発的な事態への対応、実施				

評価項目	評価の視点	小項目	配点	評価内容	評価のポイント
					体制等)、外注が必要となる場合における外注先選定上の工夫
リスク管理	施設の特性を踏まえたリスク項目を把握しているか。それに対する対応体制は適切か。	⑦リスク項目に対する通常時の備え	55	災害、感染症、事故、故障等の施設の立地を踏まえた想定されるリスク及び当該リスクへの通常時の備え	施設の立地を踏まえた想定される各種リスク、及び当該リスクに確実に対応するための、定期訓練の実施等通常時の準備や体制に対する考え方
				会社としてのバックアップ体制	緊急時の会社としてのバックアップ体制
		緊急時のマニュアル整備	緊急時に備えた取り組みの具体的内容		
		⑧リスク項目発生時の対応策	55	上記の想定されるリスク発生時の具体的な対応策	想定されるリスクが実際に生じた際の応急処置及び市との連携方法に対する考え方
施設管理	安全、環境等に配慮した計画となっているか。	⑨安全、環境等への配慮	60	安全・防犯等への取り組み	職員や見学者の事故を未然に防ぐための安全や防犯等に対する具体的な取組内容
				環境行動（地域貢献、場内美化、緑化）の取組み	場内の美化や緑化、臭気の低減化等、市の施設として地域に貢献するための環境行動の具体的な取組内容
				省エネルギー・CO <sub>2</sub> 削減等SDGsへの取組みに対する考え方	本事業における省エネルギーやCO <sub>2</sub> 排出量の削減等、市のSDGsの目標達成に資する具体的な取組内容
独自提案	上記以外で優れた提案があるか。	⑩優れた提案	45	応募者の創意工夫による追加的な提案、地域活性化や、本事業に対する高度な提案	その他、市の政策目標を踏まえた、本事業や地域活性化等に資する有効な提案
合計			600		

イ 加算点の点数化方法

評価	評価の意味合い	点数化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	(配点)×1.0
B	当該評価項目において、優れている	(配点)×0.75
C	当該評価項目において、最低限の水準である	(配点)×0.5
D	当該評価項目において、最低限の水準を満たしていない	(配点)×0.0

### 3 落札候補者選定の経緯

落札候補者選定までの主な経緯は以下のとおりです。

令和3年5月25日	入札公告
令和3年5月26日～6月16日	現場説明
令和3年7月6日	・入札参加資格確認書提出期限 提出者：JFE環境サービス株式会社
令和3年7月20日	入札参加資格確認結果の通知
令和3年8月10日	・入札（書類受付） 入札者：JFE環境サービス株式会社
令和3年9月8日	第3回検討部会（提案書評価作業）
令和3年10月20日	第4回検討部会（提案書評価作業）

### 4 応募状況

以下の1者から応募があった。

JFE環境サービス株式会社（審査では匿名とするため「だいたい社」とした。）

### 5 審査結果

#### (1) 参加資格確認

入札説明書第4項に示す事項について確認した結果、入札参加資格を有していることを確認した。

#### (2) 基礎審査結果

落札者決定基準の第3項に基づき基礎審査を実施した結果、入札価格（9億1,440万円、消費税及び地方消費税相当額を含まない。）が予定価格（9億3,528万円、消費税及び地方消費税相当額を含まない。）を下回っていた。また、特記仕様書との不整合もなかった。

#### (3) 本審査結果

本審査は、加算方式による評価を行う。総合評価点は1,000点満点とし、価格に関する配点を400点、業務提案の質に関する配点を600点とした。

総合評価点 (1,000点満点) = 価格に関する評価点 (400点満点) + 質に関する評価点 (600点満点)
---

ア 価格審査結果

価格に関する評価点は次式のとおりに計算した。

$$\text{価格に関する評価点} = (\text{最低応札価格}) / (\text{応札価格}) \times 400$$

400点 = 9億1,440万円 / 9億1,440万円 × 400
------------------------------------

イ 提案書審査結果

審査委員5名による提案内容に関する審査を行った結果は以下のとおりである。

評価項目	小項目	配点	だいだい社
実施方針	本事業に対する理解度・確実な処理	50	37.50
業務実施体制	人員配置	45	22.50
	マネジメント	70	35.00
運転管理計画	運転計画・薬品等の使用	75	37.50
	水質・汚泥管理	45	33.75
維持管理計画	定期点検・軽微な修繕	100	50.00
リスク管理	リスク項目に対する通常時の備え	55	27.50
	リスク項目発生時の対応策	55	27.50
施設管理	安全、環境等への配慮	60	45.00
独自提案	優れた提案	45	33.75
合計		600	350.0

ウ 総合評価結果

価格審査、提案書審査を踏まえ、総合評価方式による本審査の結果は以下のとおりである。

審査項目	配点	だいだい社
価格審査	400	400.0
提案評価	600	350.0
合計	1,000	750.0



## エ 審査講評

評価項目	講 評
実施方針	豊富な業務実績を基に、施設が担う役割について正しく理解した実施方針を掲げており、安定的な業務実施が期待できる提案がなされている。
業務実施体制	配置する有資格者及び業務実施体制、職員への安全教育及び本社のバックアップ体制について提案がなされており、安定的な業務実施が期待できる。 一方で、人員配置計画や業務のマネジメント・業務改善等については一般的な提案に留まっているが、今後着実な実施を期待する。
運転管理計画	施設全体の運転管理及び流入水質変動に対する管理について検討がなされている。一方で、薬品等の管理・品質確保への取組み等については一般的な提案に留まっているため、今後具体的に、効率的な業務実施及び業務品質確保に向けて取り組むことを期待する。 降雨時や異常流入時等も含め、水質の管理について具体的に検討されており、安定的な業務実施が期待できる提案がなされている。
維持管理計画	予防保全を主体とした取組みは検討されている。一方で、軽微な修繕の実施フローは一般的なものであり、市との連携、消耗品の確保の取組みに関する記述は見られない。
リスク管理	一定のレベルで記述されているが、近年の災害状況を踏まえた、よりリスク管理意識を持った取組みを期待したい。
施設管理	職員の安全、施設の防犯に関して具体的に検討されている。また、再生可能エネルギーの使用により、脱炭素への貢献が期待できる提案がなされている。
独自提案	細やかな目線での提案がなされており、着実に取組みがなされることを期待する。

## オ 落札候補者の決定

入札説明書に定める審査を実施し、だいたい社【JFE環境サービス株式会社】を落札候補者として決定する。